

ラグビーワールドカップ（RWC）2019 釜石開催に係る取組概要と今後の取り組みについて

1 RWC2019釜石開催の意義

- 国内外からの復興支援に対する感謝と復興の姿を世界に向けて発信する絶好の機会であること。
- 大会を契機とした内外観光客等の来県による交流人口の拡大や地域経済の活性化。

2 RWC2019の概要

※ 釜石市作成資料より

- (1) 開催時期 2019（平成31）年9月20日（金）～11月2日（土）
- (2) 参加チーム 20チーム（国・地域）
- (3) 試合形式
 - ① 予選プール（9/20～10/12）（40 試合）5 チーム×4 プール（総当たり戦）
 - ② 決勝トーナメント（10/19～11/2）（8 試合）（全 48 試合）
 - * 2015 年イングランド大会経済効果推定 4,200 億円
 - * 外国人来訪者約 40 万人
 - * 釜石では予選プール 2～3 試合の開催が見込まれていること。

<RWC2019 開催スケジュール>

2016 (H28) 5 月～夏	公認チームキャンプ地選定プロセス概要発表 選定プロセス開始
2016 (H28) 12 月頃	組み合わせ抽選会
2017 (H29) 秋頃	本大会スケジュール決定
2017 (H29) 秋頃～	公認チームキャンプ地選定に係るチーム視察受入れ キャンプ地順次決定
2018 (H30) 秋頃～	リハーサルイベント開催
2019 (H31) 9 月20日～11月2日	RWC2019日本大会開催

3 釜石市のスタジアム整備の概要

※ 釜石市作成資料より

- (1) スタジアム施設概要
 - ① 敷地の場所 鵜住居運動公園区域内（岩手県釜石市鵜住居町第18、19地割地内）
 - ② 敷地の面積 約90,000㎡
 - ③ 施設の用途 球技競技場、本設観客席（約6千席）、仮設観客席（約1万席）、関係諸室等
- (2) スタジアム整備スケジュール
 - 2015 (H27) 基本設計、基盤整備（～H28）
 - 2016 (H28) 実施設計、公園整備・上下水道等環境整備（～H29）、建物（常設部分）整備（～H29）
 - 2019 (H31) 建物（仮設部分）整備

3 今後の県及び釜石市の取組に係る各市町村への協力依頼

県と釜石市は、RWC組織委員会等関係機関と連携を図りながら、県ラグビー協会等関係機関、企業・団体、市町村等と協力・連携して、オール岩手でスクラムを組み、万全の体制で大会を迎えられるよう取り組みを進めて参りますので、ご協力をお願いいたします。

＜RWC2019 釜石開催に係る地元の推進体制構築スケジュール(見込)＞

2016(H28)	全県体制の開催準備組織の設置
2017(H29) 4月～	開催準備組織から実行委員会*(仮称)へと組織拡充・移行

* 地元主体の推進組織とは別に、RWC2019組織委員会では、同委員会の地域組織として、29年4月に組織委員会地域支部(略称LOC(Local Organizing Committee))を各12都市に設置予定。

地元推進組織とLOCは役割分担のうえ、相互に協働・連携を図り、大会運営に当たる予定。

【 担当：政策地域部政策推進室 畠山、菊池 Tel:019-629-5508 】